



日医発第 264 号（地域）
令和 5 年 4 月 28 日

都道府県医師会
担 当 理 事 殿

公益社団法人 日本医師会副会長
猪 口 雄 二
(公 印 省 略)

令和 5 年度 COVID-19 JMAT 保険の一部改訂について

貴職におかれましては、COVID-19 JMAT へのご参画をいただき、厚く御礼申し上げます。

COVID-19 JMAT の保険料（掛金）並びに保険金等については、先般、令和 5 年 3 月 10 日付「令和 5 年度 COVID-19 JMAT の登録および損害保険について」（日医発第 2275 号（地域））にてご案内しているところです。

政府は、令和 5 年 5 月 8 日より新型コロナウイルス感染症につきまして、いわゆる「感染症法」上の「5 類感染症」に位置づける方針を示しました。

これを踏まえ、これまで令和 4 年 9 月 21 日付「COVID-19 JMAT の登録および損害保険の改定について」（日医発第 1167 号（地域））においてご案内してまいりました、重症化リスクの高い方の「宿泊施設・自宅等での療養」を「入院」とする取扱いは、本年 5 月 7 日で終了することとなります。5 月 8 日以降は、保険金支払いのうち、入院費の支払対象となる「入院」は、病院または有床診療所への入院のみとなります。なお、死亡・後遺障害、通院、感染一時金についての変更は、ございません。

また、今後、現在の政府方針がさらに変更となった場合、保険内容につき変更の可能性がございますこと申し添えます。

つきましては、貴会におかれましても、本件についてご了知いただくとともに、貴会管下の郡市区医師会並びに関係行政機関等への周知方につきご高配を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

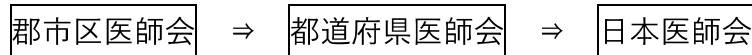
COVID-19 JMAT の登録および損害保険について

Ver8.0

1. COVID-19 JMAT の登録

※COVID-19 JMAT の概要については、令和 2 年 4 月 7 日付日医発第 36 号（地 15）「新型コロナウイルス感染症対応における日本医師会災害医療チーム（JMAT）の派遣について」を参考にしてください。

- ① 郡市区医師会が行政（都道府県、市区町村、保健所等）と協力して行う宿泊療養対応や「地域外来・検査センター」（帰国者・接触者外来の医師会への委託）等に出務する医師・看護職員・業務調整員等について、JMAT として登録する場合は、「JMAT（日本医師会災害医療チーム）申込書」に必要事項をご記入の上、都道府県医師会を通じて、日本医師会に送付をお願いいたします。（日本医師会で負担する保険料の経費負担については後述）



- JMAT は、都道府県医師会からの要請に基づき、日本医師会が要請元や他地域の都道府県医師会が編成したチームを派遣する仕組みです。JMAT は、通常、医師・看護職員・業務調整員を基本的な構成例とし、主に自然災害の被災地に派遣されるチームですが、今回の COVID-19JMAT は、新型コロナウイルス感染症対策の一環として特例的に派遣するものです（医師不在の看護職員や介護職員等で構成されるチームは、この限りではありません）。
- ② 元々の JMAT の派遣に当たっては、活動終了後に活動内容のご報告をお願いしておりますが、COVID-19JMAT においては原則ご提出の必要はありません。なお、COVID-19JMAT の主な活動内容については、令和 3 年 3 月 4 日付文書（地 546）「COVID-19 JMAT 派遣先（高齢者施設・福祉施設等）の明確化について」にて、明確化しております。

- ③ JMAT の申込受付後、日本医師会から当該チームの ID を都道府県医師会にお知らせいたします。

登録した人数や活動日等に変更が生じた際は、その都度ご連絡をお願いいたします（その際、IDをお知らせください）。

日本医師会では、事前に報告いただいている派遣計画などから、毎月、活動人数等の実績を保険会社に提供します。また、それぞれの派遣事業が終了したときに損害保険の被保険者数・活動日を確定し、都道府県行政の会計年度である3月から4月を目途に保険会社と精算手続きをおこないます。

なお、令和5年3月実績分について登録漏れや変更等がある場合は、同年4月7日（金）までに日本医師会地域医療課宛に必ずご連絡ください。

2. 損害保険の内容

- ① 2022年4月1日以降、COVID19-JMATにおける損害保険は以下のとおりです。

補償内容		掛金		今回の改定水準	
補償内容	保険金額	【2021年4月～】 1名/1日あたりの掛金		【2022年4月～】 1名/1日あたりの掛金	
死亡・後遺障害	5,000万円	医師	6,500円	医師	4,900円
入院日額（1日あたり）	15,000円	医師以外	5,080円	医師以外	3,740円
通院日額（1日あたり）	10,000円				
感染一時金（医師）	100万円				
感染一時金（医師以外）	50万円				
【主な特約】 ・熱中症危険補償特約 ・天災危険（地震・噴火・津波に伴う損害）補償特約 ・JMAT活動中のみ補償特約（出務時・往復時の負傷等を含む）		※掛金は、新型コロナウイルス緊急包括支援交付金（DMAT・DPAT等医療チーム派遣事業）の対象であり、公費負担となります。			

※1 熱中症危険補償特約、天災危険（地震・噴火・津波に伴う損害）補償特約、就業中のみの危険補償特約付帯。なお、休業補償、遺族補償等はありません。

※2 入院補償は事故の発生の日からその日を含めて180日以内の入院日数、通院補償は事故の発生の日からその日を含めて180日以内の通院日数に対し、90日を限度として支払いとなります。

※ 派遣活動中に新型コロナウイルスに感染した際、医師（歯科医師を含む）1名につき100万円/医師以外1名につき50万円を補償いたします。本特約は、感染被害

の程度にかかわらず、感染したことを以て一時金を受け取ることができます。なお、本特約は、傷害保険（死亡・後遺障害、入院、通院）のオプションであるため、本特約のみ加入することはできません。

- ② COVID-19 JMAT 保険については、感染症では、新型コロナウイルス感染症の場合のみが補償の対象です。

通常保険については、感染症は補償の対象ではありません。

いずれの保険においても、出務時、往復時の負傷等を補償します。

- ③ 令和5年4月に政府は、新型コロナウイルス感染症に係る感染症法上の取扱いを5類に変更することと致しました。

これに伴い、5月8日以降は、入院（自宅等での治療が困難なため、病院または診療所に入り、常に医師の管理下において治療に専念すること等）のみを「入院」とすることとなりました。これまで「入院」とみなしていた「重症化リスクの高い方」の「宿泊療養や自宅療養」については、令和5年5月7日で終了といたします。

なお、その他の保険金の取扱いについては、変更がございません。COVID-19JMATに加入された方で、補償期間（出務日）から数えて通常想定される期間内に新型コロナウイルス感染症に感染した方であれば、補償の対象といたします。

令和5年4月28日の改定による支払時点での影響は、入院日額（1日あたり）のみです。その他の取扱いに変更はありません。

補償内容	保険金額
死亡・後遺障害	5,000万円
入院日額（1日あたり）	15,000円
通院日額（1日あたり）	10,000円
感染一時金（医師）	100万円
感染一時金（医師以外）	50万円

【主な特約】

- ・熱中症危険補償特約
- ・天災危険（地震・噴火・津波に伴う損害）補償特約
- ・JMAT活動中のみ補償特約（出務時・往復時の負傷等を含む）

- ④ また、電話や情報通信機器を用いた医師の診察を受けた場合には、「通院」とみなして保険給付の対象となります。

3. COVID-19 JMAT 保険と通常保険との違い

COVID-19 JMAT 保険は傷害保険であり、特定指定感染症危険補償特約により、上記の通り JMAT 活動中に新型コロナウイルス感染症に感染した場合は補償の対象となり

ます。他方、通常保険は旅行保険であり、感染症は補償の対象外です。
なお、特定指定感染症危険補償特約は、新型コロナウイルス感染症に限定しており、その他の指定感染症や、針刺し事故等による感染症は補償の対象外です。

4. 被保険者

- ① 日本医師会災害医療チーム等として派遣される医師、看護職員、事務職員等を被保険者とします（高齢者施設・福祉施設等へ派遣する介護職員等も対象です。なお、医師不在の看護職員や介護職員等で構成されるチームは、この限りではありません。）
- ② 「JMAT（日本医師会災害医療チーム）」申込書にて、日本医師会地域医療課に登録されたチーム構成員を被保険者とします。
ただし、別掲のとおり、活動内容に応じて COVID-19 JMAT 保険と通常保険に分けます。さらに、いずれの保険も不要とすることも可能です。

5. 活動内容に応じた損害保険の適用

令和2年4月7日付日本医師会文書では、「日本医師会においては、ダイヤモンドプリンス号における JMAT 派遣と同様、全ての COVID-19 JMAT 隊員（職種不問）を、新型コロナウイルス感染症にも適応する傷害保険（死亡・後遺障害、入院、通院）の被保険者とする。」としました。

しかし、都道府県・市区町村等からの委託・要請に基づく高齢者や妊婦の療養のための宿泊療養施設や地域外来・検査センター、医療機関への派遣その他における活動内容によって、日本医師会が契約する保険を、COVID-19 JMAT 保険と通常保険とに分けることといたします。大切な会費、また最終的には国民の皆様が負担する公費を財源とする以上、保険の効率的な活用についてご了承ください。

- ① 高齢者や妊婦の療養のための宿泊療養施設において PCR 検査や患者への対面による診察等を行う場合、地域外来・検査センターへ出務する場合（PCR 検査等の実施）や、院内感染や新型コロナウイルス感染症に対応する医療機関（重点医療機関）等へ派遣する場合は、原則として COVID-19 JMAT 保険とします。
- ② 高齢者や妊婦の療養のための宿泊療養施設への出務その他の活動が電話・情報通信機器による相談や診療等であり、患者等と接触する可能性がない場合は、原則として通

常保険ないし保険の対象としないこととします。

具体的には、JMAT 申込書の所定欄にて選択してください。

- ③ JMAT 申込書の受付後、日本医師会事務局より活動内容についてお問い合わせをさせていただきます場合もあります。

6. 保険期間、保険料（COVID-19 JMAT 保険の特徴）

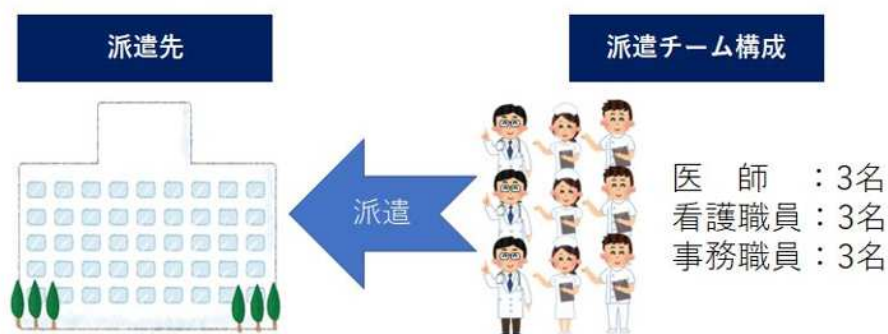
- ① 保険期間、保険料は下記のとおりです。

・ 医師※の場合 : 4,900 円 / 1 日 1 名 (特定指定感染症一時金支払特約 100 万円)

※ 歯科医師を含みます

・ 医師以外の場合 : 3,740 円 / 1 日 1 名 (特定指定感染症一時金支払特約 50 万円)

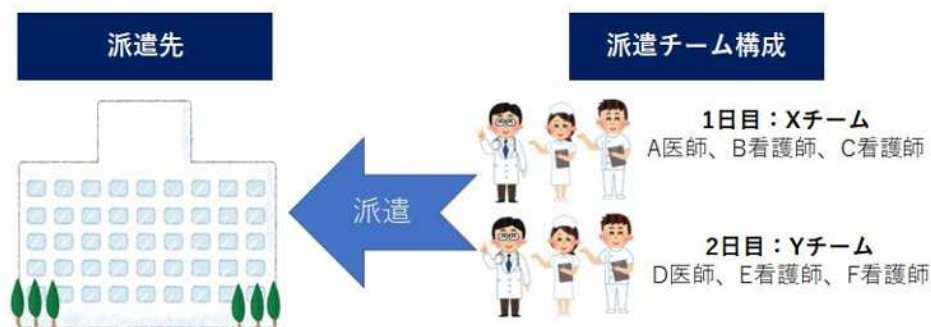
【計算例】1日派遣のケース



【保険料計算】

3名分	×	4,900円 (1日あたりの保険料)	=	14,700円	合計 : 37,140円
6名分	×	3,740円 (1日あたりの保険料)	=	22,440円	

【計算例】2日間派遣のケース



【保険料計算】

2名分	×	4,900円 (1日あたりの保険料)	× 2日間	=	19,600円	合計 : 49,520円
4名分	×	3,740円 (1日あたりの保険料)		=	29,920円	

※宿泊療養先等の派遣で、日を跨ぐ活動を行う場合、保険期間は「2日間」として

登録します（保険期間の設定は、活動時間ではなく、活動日数で設定することになります）。

- ② 一般的な傷害保険であれば、事故（＝受傷）が保険期間内に発生する必要がありますが、今回の感染症では、発症まで通常想定される期間内に「感染」したことを「保険金をお支払いする場合の条件」にしています。
- ③ JMAT 活動により新型コロナウイルス感染症に感染したか否かの保険上の判断は、これまで得られた知見より、補償期間（出務日）から数えて通常想定される期間内であることとします。なお、保険金の給付請求をする際には、出務前から発症までの前後の行動を申告いただく必要があります（想定される期間を超えた場合は補償の対象としないというわけではありません）。

7. 保険料の負担について（お願い）

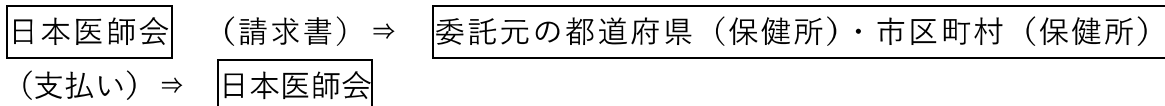
- ① 令和2年4月7日付日本医師会文書では、「日本医師会より派遣先の都道府県医師会に対し、当該都道府県行政が最終的に保険料（の一定額）を負担するよう調整を要請する。」としています。

上記の通り、保険料は大切な会費を財源とするため、保険の効率的な活用についてご了承ください。

- ② 令和5年5月8日以降、高齢者や妊婦の療養のための宿泊療養施設、地域外来・検査センター、ワクチン接種会場、入院待機施設、臨時の医療施設の取扱いが変わります。

（「新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけの変更に伴う医療提供体制の移行及び公費支援の具体的内容について」の改正について（Q&Aの追加）（2023年4月20日最終改定、厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策推進本部事務連絡。2023年4月24日付日医発第234号にてご案内。）

- ③ 行政が、日本医師会が支払った保険料を経費としてご負担いただく場合は、都道府県医師会や郡市区医師会の事務手続き軽減のためにも以下のような請求スキームになろうかと思えます。請求書等の様式については、日本医師会において作成いたしますが、行政所定のものがあればご入手のうえ、本会に提供してください。



- ④ JMAT 派遣については、新型コロナ緊急包括支援交付金 (DMAT・DPAT 等医療チーム派遣事業) により、公費で負担されてきました。これまで派遣の原資の1つとされたきた「令和5年度新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金 (医療分) の交付について」(令和5年5月初旬通知見込) における取扱いも、今後変わります。詳細が明らかになりましたら、改めてご案内いたします。なお、経費補填の対象となった場合、都道府県医師会・郡市区医師会と行政との協議がやはり重要です。ご協力のほどお願い申し上げます。

8. 保険料の精算スケジュールについて

従前どおり、貴会より派遣活動報告をその都度、当会へ通知いただき、通知実績を基に当会より保険会社へ保険料の期末一括精算を行います。なお、保険期間は4月1日から1年契約となるため、最終月である3月分実績は4月に確定となります。保険料の精算スケジュールについては、原則5月末までをお願いいたします (都道府県等行政の依頼により、期中での精算を要望される際は、当課までご一報願います)。

また、貴会より都道府県行政へ保険料負担に伴う手続き依頼を行うために、昨年度に引き続き、当会より定期的に都道府県行政へ請求する精算額をお伝えいたします。万一、通知漏れ等がございましたら、翌月に繰越して精算業務をおこないますので、当課までご一報願います。

(参考) 都道府県医師会・郡市区医師会や行政と保険会社との直接契約

- ① 日本医師会は、都道府県医師会・郡市区医師会と行政 (都道府県、保健所設置市・区その他の市町村) が、JMAT としてではなく、みなし公務員や準公務員といった立場で医師等の派遣をされること、また保険会社との間で傷害保険契約を直接締結されることには異存はありません。各都道府県医師会、郡市区医師会や行政にとって安全かつ円滑に医師等の派遣ができる方法をお選びください。
- ② 当該医療チーム (医師、看護師等) を保険の対象にはせずとも、仮に JMAT として登

録を行い、全国で情報共有・協働される場合は、JMAT申込書の保険選択欄で「3」を選択してください。

- ③ 都道府県医師会・郡市区医師会や行政が保険会社との間で個別に保険契約を締結する場合には保険金額を引き下げることなども可能とのことです。（現行では死亡・後遺障害 5,000 万円よりも高い保険金額とすることはできません）

（参考）COVID-19 JMAT 派遣実績および派遣期間実績ならびに補償内容について

派遣実績		（対象期間：2020年4月～2023年3月）※4月4日申請時点					
職種別	宿泊療養施設	地域外来・検査センター	ワクチン接種	訪問診療	その他	合計	
医師	46,984	25,825	5,074	1,795	3,551	83,229	
歯科医師	0	80	21	0	0	101	
薬剤師	142	2,419	1,251	0	72	3,884	
看護職	74,322	16,716	10,704	1,546	3,472	106,760	
その他	2,869	26,694	10,169	412	1,681	41,825	
合計	124,317	71,734	27,219	3,753	8,776	235,799	

【参考】COVID-19 JMAT保険の改定履歴について

